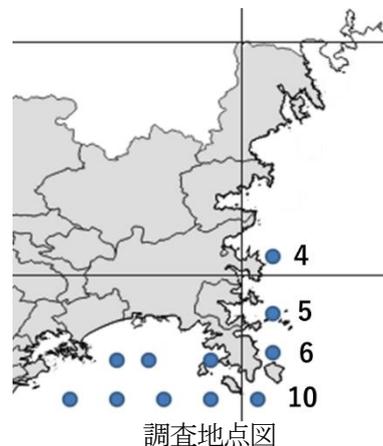


令和7年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.1)

令和7年4月25日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和7年4月18日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で9.2~9.9℃の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は40~150細胞/L 確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン *D. fortii* が0~20細胞/L、*D. acuminata* は0~200細胞/L 確認されました。



調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				4月18日	3月10日	4月18日	3月10日	4月18日	3月10日	4月18日	備考
4	4月18日 11:08 82.5 m	5.0	9.4	40	0	20	0	200	10	0	
5	4月18日 10:27 32.7 m	8.0	9.9	60	0	0	0	0	0	0	
6	4月18日 8:37 67.1 m	6.0	9.4	80	0	10	10	20	20	0	
10	4月18日 7:45 85.1 m	8.0	9.2	150	0	10	0	0	0	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水